

# 大企業内部留保1年で5兆円増

賃金ピーク時比6  
0万円減  
広がる賃上げ世論

資本金10億円以上の大企業が保有する内部留保が、前年度比で5兆円増の272兆円（2012年度）に達することが全労連・労働運動総合研究所（労働総研）の調べでわかりました。大企業が内部留保を着実に積み増す一方で、民間企業労働者の年間平均賃金は、賃金のピーク時に比べ約60万円も減っています。

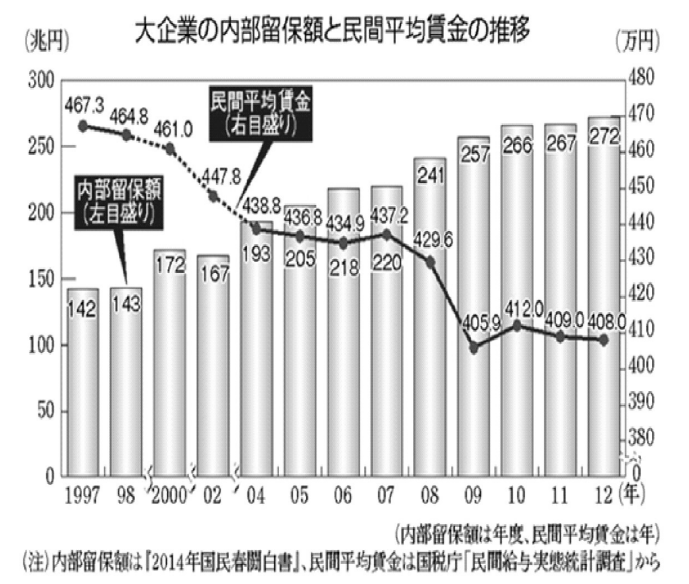
## 労働総研調べ

大企業は、法人税の引き下げや租税特別措置による減免という優遇策の恩恵を受けつつ、定期給与の抑制や非正規雇用化など労働者に犠牲を強いることで、内部留保を増やしてきました。

1997年度の約142兆円と比べると約130兆円も増やしています。（金融、保険を除く約5000社が対象）

企業ごとに見ると、突出して多いのがトヨタ自動車です。前年度より1兆341億円増の15兆2025億円になりました。持ち株会社では、第1位が三菱UFJフィナンシャル・グループの9兆9193億円で、3位、4位も巨大金融機関が占めています。

これに対して民間企業労働者の年間平均賃金は、賃金のピークだった1997年の約467万円から、2012年には約408万円と約60万円も減っています。



**内部留保** 企業の収益から原材料費や人件費などの諸費用を引いた利益をもとに税金を払い、株主配当などを除いたものを企業が蓄積したものの。

この賃金抑制と非正規雇用化が、長引く「デフレ」不況の原因です。昨年からの景気回復にむけて賃上げを求める世論が広がっています。しかし、東京新聞の報道では、賃金の増額をおこなうとした企業は主要321社中19.3%にとどまっています。

全労連・国民春闘共闘は、大幅な賃上げを求めています。  
2014年1月14日(火)

## 自衛艦衝突 「航海保安」が指摘 解除なら見張り不十分

「釣り船追い越しの失敗と見張り不十分」。海上自衛隊の大型輸送艦「おおすみ」（8900トン、田中久行艦長）が広島沖で釣り船「とびうお」に衝突、船長と釣り客の2人が死亡した事件。衝突現場など瀬戸内海での航海体験をもち、護衛艦の指導教官も務めたベテランの元海上自衛官に聞きました。（山本真直）

△ △ △ △ △  
おおすみは15日午前6時30分ごろに呉基地を出港、岡山県の造船所に向かっています。衝突したのは8時ごろ。元自衛官は「通常なら出港して40分くらいまでは航海保安についているが、衝突事故を起こしたころにはそれが解除されていたと思う」と指摘しました。

航海保安とは。狭い海域で大小の船舶が行き交い、慎重な操縦が求められるとの艦長の判断を受け、当直士官による「総員、航海保安につけ」との号令が発せ

られます。

## 全乗組員配置

おおすみであれば、普段は無人の上甲板の左右にそれぞれ複数の見張り要員が立ち、後部にも連絡要員と幹部が配置につくのをはじめ、調理要員を除く全乗組員がそれぞれの配置につくなど「戦闘配置に近い状態、文字通りの総員配置」になるといいます。

「狭い湾口から広い航路帯に入り、航海保安が解除された状態で航海していたはず。じつは、この解除後が一番、海難事故を起こしやすい。自分も瀬戸内でタンカーと衝突事故を経験している」と告白する元自衛官。

航海保安が解除されるとブリッジ（艦橋）以外の見張り要員は元の部署にもどり、それまで張り詰めていた気分が緩むといえます。  
とびうおが速度の遅い、おおすみを追い越した後、おおすみは右に旋回、その後、加速して左に針路を変更したとき衝突したとの報道に対し、元自衛官はこう指摘します。

「おおすみは自船を追い越したとびうおの存在はわかっていたはず。しかし、前方を横切る他船の回避で右に旋回したため、決まった航路にもどす必要から艦長の許可をとって加速して左に変更した。そのときとびうおの位置を把握していなかった可能性がある」

**左おろそかに**  
救助されたとびうおの釣り客は「おおすみは左後方から接近してきた」と証言しています。おおすみのブリッジは右側にあり、見張りも「右、見張り、左、警戒」となり、左はどうしてもおろそかになりがち、といえます。

元自衛官は、「おおすみかとびうおの存在を把握していたら、左旋回するときに、とびうおからの距離を十分にとった位置で追い越したはずだ」と指摘。「とびうおに気がついたときはあまりに接近しすぎて、警笛は、間に合わないことを承知で鳴らした、いわばアリバイとしかいえない」

実際、釣り客は、おおすみ警笛を鳴らしたときはとびうおの右横、4〜5メートルに接近していたと証言しています。

海上衝突予防法は、追い越しをかける船に回避義務があると定めています。

2014年1月19日(日)

2014, 1, 21 NO, 641  
**日本共産党**  
磯城郡議員団だより  
芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp  
川西町結崎 862-7 0745-43-2415  
吉田 容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
田原本町大木 113-5 090-5257-4446  
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570  
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

日本共産党発行  
**しん赤旗**  
日刊●月 3,400円  
日曜版●月 800円



## センター試験

今年の大学入試センター試験が終わりました。この試験、時期が時期だけに気象の影響を被る事となり、受験生の皆さんが準備万端整えていくら臨んだとしても、余計な負担が掛かってしまつて気が気では有りません。今年も一部で影響が出たようですから、とにかく安定してくれる事を願うばかりです。

とは、言いましても、目指す門戸を潜り抜ける為の手段が一連の仕組みになつていきますから、言つて見れば、一発の試験で小中高と積み上げて来た学力が試される制度と言ふのは、非常に酷な仕組みですよ。誰もが何とかならんものかと巡らせてはる事でしょう。

国によつて、この仕組みも様々ですからどれがベストかは難しい判断になります。一度しか無い人生で、学力の判定をこの一回の機会でする。あまりにもウエイトが詰まり過ぎていると、思わはりませんか。私は、改めた方が良く、ずっと感じています。

そもそも学問とは、言われてする物では有りません。やりたい者が広く自由に探求できて何ぼの世界です。皆が広く切磋琢磨し、得た成果を時々社会に還元し、その益は社会全体が享受できる仕組みこそ必要ですよ。

川西町議会議員  
芝 和也



## 奈良のこと

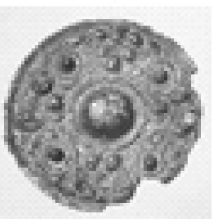
先日、奈良新聞に目を通していた時、ひととき小さい文字が飛び込んできた。

何だろう？と目を凝らしてみると「奈良まほろばソムリエ検定試験 奈良通2級」とある。「へーこんなものがあるんや」と興味深く問題を読んで見た。1つの問いに4つの答えから最も適当なものを選びなさい、という形式になつている。たとえば「都を藤原京から平城京に遷した天皇は誰か？  
ア、元正天皇 イ、元明天皇 ウ、聖武天皇 エ、桓武天皇」答えはイ。「大和一の宮である神社はどれか？  
ア、大神神社 イ、大和神社 ウ、談山神社 エ、飛鳥坐神

社」答えはア。また、「川西町にあり、鍬形石、車輪石、石釧など130点余り石製品が出土した古墳はどれか？  
ア、小泉大塚古墳、イ、島の山古墳 ウ、狐井城山古墳 エ、猫塚古墳」答えはイ。（これは、同ページに答えが書いてあるから分かっただけ）

奈良の地に憧れて兵庫から来た私だが、いかに奈良の事を知らないかを思い知らされた。せっかくこんな歴史のある地に住んでいるのだから、これを機会に奈良の地の文化や歴史を知つていこうと思つた。

田原本議会議員  
森 良子



## 国民健康保険税集めすぎ!

平成二十四年度国保会計決算は、四億五千八百万円の黒字。しかも、一億円の基金(貯金)があります。これまでは、「はやりやまいがあつた時に必要」などの理由をつけて貯め込むことが担当課の思いでした。

ところが、来年、保険料の支払いすべてを県が一括して行うことになり「はやりやまい」があつても心配いらなくなりません。そうなる、今貯め込んでいる約六億円弱のお金は不要となります。これまで負担された方に返すのが本筋です。町の対応を見届けましよう。

本町の国保世帯の半分以上が、収入が少なく国

の減税の対象となつています。税金を払いきれず滞納されている世帯も多い状態です。国は、貧困の連鎖を避けるために、十八歳以下の子どもには親が滞納していても無条件に保険証を交付するよう指導しています。本町でも、六か月の短期保険証を郵送されています。

ところが、「一〇月以降保険証を使ったかったら手続きに来い」という対応をされていて、現在でも十七世帯の子どもの保険証のない状態です。子どもに責任はありません。

町は、「命が大切」という姿勢に立ち戻るべきです。

田原本議会議員  
吉田容工



## 名張毒ぶどう酒事件

1961年に三重県と奈良県の県境で起きた名張ぶどう酒事件の8次再審を向けての学習集会が奈良市内であり参加してきました。

犯人とされる奥西勝さんは現在88歳。八王子の医療刑務所に収監されています。面会人した弁護士からの報告では、昨年一時危篤状態になられたが、現在は健康を取り戻しつつあるという事です。目にも握手する手にも力が出てきて、判読できる文字も書けるような状態までに回復されると報告がありました。

学習会では弁護団の稲垣仁史弁護士が報告。弁護士は一日も早く「死刑囚」という状態から解放してもらいたいという事を本人は望んでいるのではない。無罪判決を出すにはハードルが高いほどいいという裁判官も後押しが必要だとも言つておられました。

夕刻近鉄奈良駅前前で宣伝行動したら、観光客など多数がチラシを受け取り、署名にもおおじていました。

三宅町  
池田年夫

